

# 第3次コミュニティ基本構想・基本計画策定に向けた成果と課題の整理

各検証作業	成果	課題	今後取り組むべきもの
<p><b>社会全体の変化</b></p> <p>コミュニティ施策の全国動向や地域をとりまく社会の変化について、総務省資料や本市の統計資料等をもとに検証し、現状と課題を整理</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進展や児童福祉の問題 →年代に関わらない社会的孤立の増加</li> <li>・ライフスタイルや価値観の変化 →地域参画の機会、時間の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民間のつながりづくり 支え合いの場づくり</li> <li>・住民間の相互理解の促進 (多様な価値観、新しい価値観の共有)</li> </ul>
<p><b>第2次計画における地域の取組の検証</b></p> <p>策定部会員(各地区事務局長)が検証シートを作成 →各地区共通のものや代表的な成果と課題をとりまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の強みを活かした新たな事業の実施</li> <li>・防災等の新たな課題への取組強化</li> <li>・コミュニティ・スクールによる小中学校との協働の増加</li> <li>・大学等の専門機関との連携やボランティア人材の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民ニーズの把握</li> <li>・地区の強み・弱みの再確認</li> <li>・事業の固定化、マンネリ化</li> <li>・参加者の固定化</li> <li>・担い手不足、組織の固定化</li> <li>・運営協議会設立時に描いた理想や理念が薄れてきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズや地域資源等、<b>地区の自己分析</b></li> <li>・事業の見直し(スリム化、統廃合) ⇔組織の見直し、役割分担の見直し</li> <li>・多様な住民(子ども、若者、女性etc)の参画</li> <li>・地域の力を補完する<b>多様な主体との連携</b> (行政、他地区、小中高校、大学、市民活動団体、専門機関、企業etc)</li> <li>・理想の語り直し、理念の共有</li> </ul>
<p><b>自治会アンケートによる現状把握</b></p> <p>自治会長に通じてアンケート調査を実施し、自治会運営の現状と課題を把握(市内142自治会を対象)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大等を契機とした、<b>組織と行事の見直し</b></li> <li>・一部地域でのSNSの活用や、自主防災活動の活発化(防災意識の高まり)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の役割の変化</li> <li>・活動参加、役員の負担感の増加 自治会長への負担の集中 →役員の成り手不足</li> <li>・会員の高齢化、若年層の無理解 自治会活動への無関心 →加入率の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉と防災を中心とした<b>自治会機能の整理</b> (協議会、自治会との役割の明確化)</li> <li>・負担(感)の軽減</li> <li>・取り組みの発信や運営の透明性</li> <li>・多世代が気軽に参加できる地域組織へ</li> <li>・加入率向上のための具体的な取り組み</li> </ul>
<p><b>行政内部での取組の検証及び関係課ヒアリング調査</b></p> <p>第2次計画に沿ってコミュニティ担当課及び各事業担当課が検証シートを作成 →各担当課へヒアリング調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局長の職責と処遇の見直し</li> <li>・労務等の共通仕様の整備</li> <li>・まちづくり交付金の算定見直しやチャレンジ交付金の新設</li> <li>・役員・自治会長合同研修会での地域の<b>学び合いの場の創設</b></li> <li>・初任層を中心とした職員研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が地域に求める役割 …「<b>地域課題の解決の主体</b>」</li> <li>・行政課題の多様化で地域との協働が不可欠(特に、<b>防災、福祉、教育</b>)</li> <li>・<b>地域やコミュニティの実情</b>についての庁内の再認識</li> <li>・コミュニティや協働が当たり前のものとなり、市民参画条例の理念が薄れてきている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題解決に向けた行政とコミュニティとの意見交換や支援を継続的に実施</li> <li>・<b>分野ごとの活動支援体制</b>の構築</li> <li>・政策立案・決定の主体となる中堅・管理職<b>職員の意識改革</b></li> <li>・コミュニティ担当職員の<b>コーディネート能力向上</b></li> </ul>